

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	衣料品専門店（営業・販売）	販売量の動き	・スーツの販売数量、金額などが、昨年よりも大幅に良くなっている。
		旅行代理店（店長）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの曜日配列が良く、海外旅行に行く人が増えたため、国内旅行の受注が伸びなかったが、月末には回復した。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・個人旅行の最需要期である夏休みの申込が順調で、高額商品の受注も好調である。不安要素としてイラク情勢の悪化があるが、現在の状況では影響は感じられない。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・IT投資に前向きで、大型設備投資についての予算が出るようになった企業が多い。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・オリンピックを2か月後に控えて、薄型テレビなどの需要が増加しており、それに連動した形でケーブルテレビの加入も増えてきている。
		競輪場（職員）	単価の動き	・本場開催における購買単価をみると、今月は月平均で23,784円と、2月の21,066円よりも増加した。売上総数もゴールデンウィークや多くの他場の協力があつたことなどから、2月よりも大幅に伸びた。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの住宅展示場の来場者は、前年比で2割以上増えた。特にデザイナーズ住宅が注目を集め、団塊ジュニア世代の来場が増えた。
	やや良く なっている	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けは、春の商戦も終了して暇になっていく時期であるが、今年は3か月前より来客数、商談数ともに好調である。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・中旬まで天候の悪い日が多かったため売上は伸びなかったが、スーツ等の動きが良かった。
		百貨店（広報担当）	単価の動き	・宝飾品や絵画等が売れてきている。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・客は、ブランド品等で気に入った商品があれば、高くても買い求める傾向が出てきた。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店が出店しているにもかかわらず来客数が増え、昨年並みの売上を維持できていることから、客の買い回りが増えてきたと感じる。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・消費税の総額表示の影響も落ち着きをみせ、買上点数も増えてきている。
		スーパー（経理担当）	お客様の様子	・し好品の購入も目立ち、明るい兆しがみえてきた。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・商用車の入替えが活発になってきており、オプションをつける車も増えてきた。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの来客数は前年に比べて好調で、コンスタントに利用客が増加しているほか、売上単価も伸びた。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・婚礼、宴会が好調であり、来客数や収入とともに大幅なアップをみせている。宿泊は例年の大型団体による利用がみられないが、ロータリークラブ世界大会関係者の宿泊や、一般ビジネス客も伸びているなど、一時の低価格競争に底打ち感がある。
		都市型ホテル（副総支配人）	販売量の動き	・宿泊は大型連休の影響で好調であったほか、宴会については婚礼件数が増えたこともあり、大幅に業績を伸ばした。レストランも前年を下回っている店舗があるものの、業績は伸びてきている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・家族での海外旅行の単価が上昇傾向にあり、少し贅沢な旅行も増えている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・各待機場所での営業車の台数がやや減少していることから、流し営業での実車回数が増加していると感じる。
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新規出店や、リニューアルなどの動きがみられる。		
住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・京都市内の中心部では、一部に地価上昇の兆しがみられる。		
住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・阪神間において一戸建ての建売住宅がよく売れており、分譲業者も土地購入を積極的に行っている。特に立地の良い土地については、価格が上昇基調にある。		

	住宅販売会社 (従業員)	単価の動き	・販売の好条件がそろっているという前提はあるものの、マンションの販売坪単価がやや上昇傾向にある。
	その他住宅[情報誌](編集者)	販売量の動き	・ゴールデンウィークを中心として住宅情報誌の販売部数が前年比で伸びてきており、エンドユーザーの不動産購入が活発化していることがうかがえる。
変わらない	一般小売店[衣服](経営者)	来客数の動き	・当社を含め周りを見渡しても良い傾向はない。特にアパレル業界では、いまだに自主廃業が後を絶たない。
	一般小売店[衣服](経営者)	単価の動き	・商店街全体の来客数は増加したが、売上は伸びなかった。
	一般小売店[野菜](店長)	来客数の動き	・当店は飲食店などによる仕入れが多いが、どの店も暇のようで、売上が減少している。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・特に買い控えている様子は感じられないが、来客数が減っている。京都市内に観光客は多いものの、時間的余裕のないツアー客が多い。 ・今月の16日よりヤング衣料の売場へ異動となったが、こちらの購買層は更にシビアで、必要な物以外の購買はせず、消費対象を絞っているように感じる。
	百貨店(経理担当)	お客様の様子	・セール売行きが良くない一方で、宝石や時計などの高額品、趣味性の高い作家の焼物などは相変わらず売れている。
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・液晶テレビの販促を全社的に行ったところ、客からの反応は期待どおりであったが、ブランド以外の一般宝飾品や、美術品への関心は極端に悪くなってきている。
	百貨店(サービス担当)	お客様の様子	・来客数は前年とほぼ同じ状況である。水着などの夏物商材は苦戦しているが、北海道物産等の催事の食料品は好調で、前年水準は確保している。
	スーパー(広報担当)	お客様の様子	・消費税の総額表示によって、価格が従来よりも割高に感じられるようで、食料品などの生活必需品を中心に、1人当たりの買上点数が昨年実績を下回っている。
	スーパー(開発担当)	単価の動き	・原油価格の上昇により商品価格が上がっている。
	コンビニ(店長)	販売量の動き	・消費税の総額表示が導入されてから、売上が伸び悩んでいる。
	コンビニ(店長)	販売量の動き	・既存店売上の前年比は3月がマイナス2.2%、4月がマイナス0.3%と推移してきたが、5月はマイナス4%と更に悪化する見込みである。理由としては、本年が大型連休であったため都心店舗の売上がマイナスであったことと、中旬以降の天候不良と気温が低めであったことが大きく影響している。
	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・夏物商品の動きが鈍いため、売上が落ち込んでいる。
	衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・近隣の店が閉店したほか、来客数も減少するなど状況は厳しく、売上は伸びなかった。
	家電量販店(経営者)	お客様の様子	・商品購入に対する判断がシビアである。家電製品では普及率の高い商品が買い換え需要が中心だが、故障するまで使い続ける傾向にある。
	家電量販店(企画担当)	単価の動き	・薄型テレビやプラズマテレビなどの評価が高いので、テレビの単価は上昇しているが、オリンピックに合わせて購入するつもりなのか、すぐには購買に至らない客が多い。
乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・今月も、会社が外資系に変わって待遇が悪くなったとか、リストラされたという話をよく聞く。	
自動車備品販売店(従業員)	お客様の様子	・4月には幾分明るさがみえ始めたが、5月は再び来客数、客単価を含めて厳しい状況となっている。セール時は客足もしっかりしているが、セール以外は相変わらず鈍い。	
その他専門店[ガソリンスタンド](経営者)	販売量の動き	・仕入価格が上がっているのに、売値が上がらない。	
スナック(経営者)	お客様の様子	・客の会話のなかには、勤めていた企業が倒産したという話も出ていた。また公務員の来客数も、給与のカットなどから減少している。	

		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3月、4月、5月と大阪地区ではホテルの利用が活発になってきている。特にレストランでの個人客の利用が顕著であるほか、宿泊についても好調であった。
		旅行代理店（広報担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィークまでは海外旅行を中心に非常に好調であったが、夏の旅行シーズンの予約については、やや出足が鈍い状況である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・街での人の動きは良くなってきているが、依然として夜の客は増えない状況である。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・今月は春商戦を終えた後の一服感が予想以上に大きく、動きが感じられない。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・5月に入って天候不順が続いているが、昨年並みの実績となっている。
		その他レジャー施設 [ イベントホール ]（職員）	販売量の動き	・催し物も増えて稼働率も高く、昨年よりも良かった。
		美容室（店長）	来客数の動き	・開店10周年キャンペーンで、旧客向けに割引サービスを行っているので売上は伸びているが、新客がなかなか増えない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・一時的なものだと思うが、5月に入ってから住宅需要が低迷してきた。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街でプレミアム付きの買物券を発行しても予定販売額に満たず、使用される店は食品関係に限られていた。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・春物商戦の立ち上がりはジャケットやTシャツなどが好調に推移し、ゴールデンウィークを含め来客数も前年を上回っていたが、ゴールデンウィーク、母の日商戦以降は売れ筋も出ず、来客数も減っている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・前年と比較して、来客数は増加していない。リビング、宝石等のアイテムは好調に推移しているが、ファッション関連は苦戦している。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・客が旅行等へ流れたことから、期待されたゴールデンウィークは来客数が大きく落ち込んだ。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・消費税の総額表示により価格が上がったと感じている客が多く、更なる値引き等を繰り返しているが、特売商品以外の販売量が減少し、1人当たり買上点数、買上単価の悪化がみられる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・この数か月は来客数がやや戻ってきていたが、5月は雨の日が昨年より多かった影響で減少した。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク以降、これまで回復しつつあった売上が大きく減少している。
		その他専門店 [ 医薬品 ]（経営者）	単価の動き	・消費税の総額表示の影響で、買上点数、客単価が若干悪化している。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・悪天候のため来客数は大幅にダウンした。予約状況も昨年に比べ大きく下回っている。
	悪くなっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・連休の影響で平日の営業が昨年よりも3日少なかったため、売上が減少した。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・顧客の予算がなく、仕事を解約されたという状況である。
企業動向関連	良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・サンプル品の製品化、量産化が増えてきている。
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・これまで月末に受注量が悪いときは月間の売上が減少していたが、増加する傾向がみえてきた。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・生産ラインが3本ある中で、この1年は2本で生産していたが、今月は3本がフル稼働している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・既存顧客の部署のうち、これまで営業できていなかった所からの見積照会が増えてきた。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・取引先のコストダウン等の要請は厳しいが、輸入貨物の動きが活発になってきた。
	金融業（支店長）	取引先の様子	・建材製造業やホテル業の一部の企業に販売額の減少がみられるものの、建機部品製造業、雑穀糖類卸業、菓子小売業等、幅広い企業で販売額が増加している。	

	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大阪市内の飲食や物販店舗の入居率が、やや好転している感がある。特に一等地は物件不足となりつつあるが、事務所の入居率が少しでも好転しないと、本格的なテナントの回復とはいえない。	
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・銀行が住宅ローンだけではなく、収益物件に対しても積極的な融資姿勢をみせるようになった。	
	その他非製造業 〔民間放送〕 （従業員）	受注量や販売量の動き	・放送業界の当面の課題である地上デジタル放送は普及が伸び悩んでいるものの、引き続きテレビスポットの需要は好調である。	
変わらない	電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・液晶テレビ等のAV商品は順調に推移しているが、電化製品やパソコン等、その他の商品の荷動きが鈍化傾向にある。	
	建設業（経営者）	それ以外	・最近、鋼材関係が短期間で急騰している。予算との大幅な違いはもちろん、材料不足のために工程管理にも影響が出てきている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・戸建分譲においては、相変わらず購入意欲が低い。新聞チラシや住宅情報誌を媒体として広告を行っているが、集客力が今ひとつ弱く、契約となるともっと低いという状況である。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・景気回復の兆しを受けてか、余力のある企業の新規出店が増加している。ただ一方では、これまで何とか持ちこたえていた企業の淘汰が始まったように感じる。	
	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・消費税の総額表示導入に伴うメニュー表、ポスター等の変更によるオーダーもほぼ終息し、代わりに学生の就職活動による利用が増えてきた。法人各社の動きも、決算報告書等のレポートから夏物新商品等の企画書へとオーダー内容がシフトしつつある状況である。	
	その他非製造業 〔衣服卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店全体としては荷動きが活発化してきている様子だが、一方で大手スーパーが消費税の総額表示で単価を据え置くなど、結局小売店、卸売とも5%の売上ダウンとなっている。	
	やや悪くなっている	輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・関西国際空港での輸入貨物の配達は3月、4月と好調であったが、5月に入って大幅に減っている。
広告代理店（営業担当）		受注量や販売量の動き	・例年受注のあったテレビスポット広告等が、かなり減ってきている。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良く なっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣先からの人材の引き合いが増えてきている。
	やや良く なっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・この時期は正社員を採用する企業が多いほか、事業拡大のために人材派遣を増やそうとする動きが顕著にみられ、仕事量は増加している。しかし金額面については厳しい状況が続いている。
		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・派遣法の改正で社員から派遣社員へシフトする企業が数社発生した。ただし、企業側から要求されるスキルが高く、マッチングが難しくなっている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・製造業などの採用が増えてきている。特に大阪周辺の企業から、新卒採用の再開や、即戦力となる人材を10人以上採用したいなどの問い合わせが増加している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・求人数が増えている。クライアントによってはビルを購入したり、良い土地を探している様子がみられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新聞の求人広告に関しては各社とも苦戦している。しかし、パート、アルバイト関連の新聞チラシを利用した求人広告に関しては増加傾向にある。また、これまで高齢者を対象としたものが少なかったが、年齢層も広告主層も拡大傾向がみられる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人の増加傾向が続いている。製造業の求人の増加も半年以上継続している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は8か月連続して前年比で大幅に増加しており、有効求人数も3か月前と比べると約10%の増加となっている。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・学生からの内定報告が、前年と比べて増加している。就職活動中の学生の顔も明るい。

	学校 [ 大学 ] ( 就職担当 )	周辺企業の様子	・大手企業の採用はほぼ終盤にさしかかっているが、重複内定による辞退もあるので、中堅企業は優秀な学生確保のために採用活動を続けている。
変わらない			
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	-